

□ 要請番号 (JL50616B06)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
エチオピア	A101 コミュニティ開発		個別	新規	2年	・ 2017/1 ・ 2017/2 ・ 2017/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

連邦水灌漑エネルギー省

2) 配属機関名 (日本語)

南部諸民族州グラゲ県アベンゲ水鉱山エネルギー事務所

3) 任地 (グラゲ県ウォルキテ) JICA事務所の所在地 (アディスアベバ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで 約 3.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

グラゲ県アベンゲ郡における灌漑用水や村落給水などを担い、給水技術の改善にかかる人材育成・体制強化・普及支援等に取り組んでいる。傘下にある29の地区を管轄する。総スタッフは約15名、年間予算75,000ブル(約38万円)。同事務所が所在する南部諸民族州ではJICA技術協力「飲料水用ロープポンプの普及による地方給水衛生・生活改善プロジェクト」が2013年2月から2016年12月までの予定で展開されている。同配属先へのJICAボランティアの派遣は初めてであるが、同時期にロープポンプ普及支援のJV(コミュニティ開発)を募集中。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

エチオピアでは安全な水を供給するための施設設備が遅れており、給水率もサブサハラアフリカ平均に比べて低い。こうした状況の中、給水衛生状況の改善と生活改善のために飲料水用ロープポンプの普及を目標としたJICAプロジェクトが展開されている。同事務所を管轄する南部諸民族州グラゲ県では、プロジェクトの対象地域の一つであるマスカン郡をモデルとし、全県展開を目指している。郡水鉱山エネルギー事務所が中心となって村落部での、ロープポンプの宣伝や住民への購入支援、商品としてのロープポンプの信頼性を確立することが期待されているが、人材不足、また住民の知識不足から効果的な活動が展開されていない。そのため、ロープポンプ設置前の普及活動および設置後の維持管理や給水衛生状況改善支援のためにJICAボランティアが要請された。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 給水衛生状況改善に必要な支援
 - ロープポンプ設置後の維持管理能力強化のためのアドバイス
 - 可能な範囲で修理が必要なロープポンプの修理サポート
 - 必要に応じて同県や他の地域に派遣されている関連職種の隊員との連携が期待されている。
- ※上記活動を実施するために、村落(配属先から10km〜40km)への訪問も必要であり、移動手段は一般交通機関(ミニバス、3輪タクシー、馬車など)を利用することとなる。
- ※ロープポンプの設置状況によっては1の活動が中心となることも想定される。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

特になし

4) 配属先同僚及び活動対象者

所長: 男性 40代

水分野担当: 7名 20〜40代 短大卒〜大卒

※給水維持管理担当3名、給水衛生担当1名、プロモーション担当1名、デザイン&設置担当1名、モニター&評

価担当1名

※プロモーションや給水衛生の担当はいるが、専門の知識は持ち合わせていない。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（大卒） 備考：配属先学歴レベルとの調和

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

・啓発・衛生に関する知識や興味

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（ステップ気候） 気温：（10～30℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

※現地語(アムハラ語)については同国着任後に学習する機会があるが、インターネットでも自己学習可能。

※※ロープポンプについては、必要に応じて派遣前に研修で学ぶことができる。